

この研究は、16世紀イタリアの画家及び建築家、ジュリオ・ロマーノ(Guilio Romano 1499-1546)の作品と経歴を問題の対象として取り上げ、彼を媒体にローマからマントヴァへ、マニエリスム芸術がどのように伝播したのかを捉える試みである。つまりジュリオ・ロマーノの作品群の様式的特徴を検証しながら、彼がローマのラファエッロ工房で習得した画法や建築方法、スキル、装飾のフォルム、仕事の捌き方なども含めた芸術制作の文化一式を、どのように自らの作品に表し、芸術の伝播に貢献したのかを議論する試みである。ローマ教皇庁の宮廷芸術として始まり、その後ヨーロッパ各地やアメリカ、アジアにまで普及したマニエリスム芸術。ラファエッロ工房は、ミケランジェロ工房と並んで、ローマにおけるマニエリスム芸術制作の中枢に位置していた。そしてジュリオ・ロマーノは、ラファエッロの死後、その継承者として工房を仕切り、その後マントヴァに移住した。従ってジュリオ・ロマーノ作品の様式分析と、彼自身の物理的な移動や、人的交流を検証することで、マニエリスム芸術の伝播の様相の一部を具体的に明らかにすることができると考え、本研究に取り組んだ。

ヴァザーリの『列伝』によれば、芸術家ジュリオ・ロマーノの始まりの全ては、ラファエッロの工房にあった。ローマ出身のジュリオは、少年の頃からラファエッロに師事し、十代で師匠の右腕として責任ある仕事を任されていた。例えばヴァチカン宮殿にある四つのラファエッロの間のうち『ボルゴの火災の間』のフレスコ画は、ラファエッロのデザインに基づき、ジュリオ・ロマーノがそのほとんどを描いた作品である。そして1520年、突然のラファエッロの死後は、ジャンフランチェスコ・ペンニと共同でラファエッロ工房を継承したが、ジュリオ・ロマーノは、師の死直後からラファエッロの残した未完成作品の仕事を引き継ぎ、完成させ、工房の弟子たちや技術、メソッドやシステムなどを名実共に受け継いだ。ローマの芸術シーンにおいては、そのような状況と立場にあったジュリオであったが、1524年にはバルダサーレ・カスティリオーネの仲介で、マントヴァのフェデリコ・ゴンザーガに仕えることとなり、パラッツォ・デル・テの建築家に任命される。これは、彼のキャリアにおいて重要なターニング・ポイントであると同時に、マニエリスム芸術の伝播の流れにおいても、1527年のローマ劫掠以前に起こった、一早いローマからの出力であった。

本研究においては、ジュリオ・ロマーノが具体的にどのようなスキルやフォルムなどの芸術の諸要素を、ローマからマントヴァへ伝えたのかということを確認するために、生前ラファエッロが居住していたブラマンテ設計のローマのラファエッロ邸、ラファエッロ死後にジュリオが単独で請け負ったローマのパラッツォ・スタティ・マッカラーニ、マントヴァにあるジュリオ・ロマーノの代表作のパラッツォ・デル・テ、そしてジュリオ自ら設計したマントヴァの自邸などを比較しながら様式分析した。また、師ラファエッロとジュリオの様式的類似性や相違点を確認するために、ラファエッロから引き継いだ仕事であるローマのヴィラ・マダマ、ラファエッロの死後に単独で請負ったローマのジャンニコロ丘のヴィラ・ランテも比較しながら検証した。

16世紀イタリアでは、画家や彫刻家が遠近法や数学、そして古代の遺跡に関する知識を装備すれば建築家になることができた。例えば、ミケランジェロやヴァザーリ、そしてラファエッロもその類である。ジュリオ・ロマーノの建築作品も「画家の建築物」と称されるように、彼も師匠に習い、デザインやプランなどを担当し、構造的な問題や施工は石工や大工に任せ、工事のマネージメントや監督などに従事していた建築家であった。ルネサンス期に再発見されたドムス・アウレアなどのローマの古代遺跡とラファエッロから学んだフォルムを源泉にデザインしたジュリオは、アイデアやコンセプトを体現するために数多くの素描を制作し、それを基盤に作品制作を行う、正に、デゼーニョ・ベースの芸術家であった。勿論、素描の他にもフレスコ画、肖像画、宗教画も数多く残しているため、彼とラファエッロとの類似や相違を比較するために、それらも検証し、師匠の影に隠れていることが多いジュリオ・ロマーノの芸術家としての力量を浮き彫りにした。

「Center 中央と Periphery 周縁」の理論に則って考察するとマントヴァは正に周縁の都市であり、ジュリオはその地にローマ発信のマニエリスム芸術、つまりラファエッロ工房で学んだ芸術制作の全て、を持ち込んだわけである。考察の過程では、ローマとマントヴァの関係性についても、芸術地理学的に捉えることを試み、この場合の Prime Object と Sequence は何であったか、そしてどのような繋がりやネットワークが認められるのかも、検証した。